

2015年度 NPO法人 寺子屋in長万部 活動報告 前半(8月9～10日)

東日本大震災に被災され親を亡くした子供たちとその家族を、自然豊かな北海道長万部に招待し夏休みのひと時を過ごしてもらう、という「夏の寺子屋」も今年で4回目です。今年の参加者は3泊4日の全日程を終え、12日昼過ぎ長万部駅を後にし、夕刻気仙沼に無事到着したとの連絡を受け取りましたので、ご報告申し上げます。

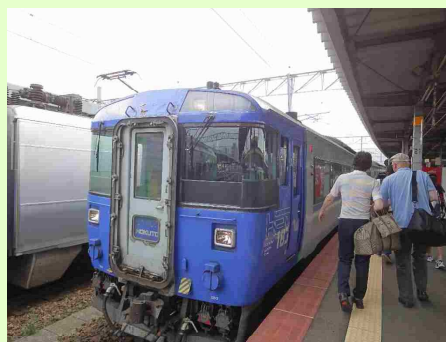
参加くださった方々は、全部で6家族17人でした。東日本大震災による被災の全体を考えると気が遠くなるほど小規模の活動ですが、隅々まで目を配ることができるという利点を生かすよう努力いたしました。参加の子供達やご家族からは、素直に「楽しかった。来年も参加したい。」という言葉をいただき、逆に私達が元気を貰ったように思えます。

長万部町の方々、東京理科大学の先生方、学生諸君、札幌や東京から駆けつけてくれた方など、沢山のボランティアの方々のご協力をいただきながら、今日までくることができました。また、300人を超える賛助会員の方々からのご厚志は本法人の活動を根底から支えてくださいました。ここに改めてお礼申し上げます。

NPO法人 寺子屋in長万部
理事長 幡野 千丕子

2015年度の活動の様子を写真を見ながら報告させていただきます。

◆8月09日 新青森より長万部に向かう



今回は新青森で待ち合わせて、スーパー白鳥5号に乗りお弁当を食べ、函館で北斗9号に乗り換え、3時過ぎに長万部駅に到着



長万部駅で幡野理事長・スタッフが出迎え
NHKの取材班(黄色のジャンパーの方)
もカメラを構えて出迎えてくれました



長万部町で用意してくれたバスで理科大へ

◆8月09日夕方 理科大長万部校舎に到着し、開校式を行う



理科大長万部校舎のエントランスホールに到着し、スタッフ一同が出迎えて受付を済ませます



開校式が始まり、理事長達の挨拶



理科大の先生達の挨拶



書道教室担当の井坂夫妻達の挨拶



学生アルバイトの大村、伊藤、斉藤、三原さん



4回目参加のOさん家族



4回目参加のGさん家族



2回目参加のMさん家族



初参加のOさん家族



2回目参加のYさん家族



初参加のAさん家族

◆8月9夕方 理大食堂前庭で歓迎のバーベキュー



北海道のごちそう ほたて、とうもろこしーいろいろ



皆さん各テーブルに分かれて北海道の味に舌鼓！



お腹いっぱい食べた子供達は早速、大学生のお兄さん・お姉さんと仲良くなり
広い大学の芝生の傾斜面を何度も駆け回り、元気いっぱいです



NHKの方が子供達に取材中



早速、お姉さんと一緒に



飽きずに何度もお姉さんと広い敷地内の
斜面を駆け上がり・駆け下りる子供達

◆8月10日朝 NHK朝のニュースで私達の活動の様子が放映されました



8月10日朝 6時54分から 1分8秒間 NHK朝のニュース(北海道版)にて私達の活動の様子が高橋美鈴アナウンサーの説明で放映されました

以下、放映された画面です



◆8月10日朝 理大食堂で朝食



朝7時半 招待者・スタッフと一緒に理科大食堂にて朝食

◆8月10日朝 貸切りバスで余市方面に出発



朝、理科大管理棟玄関前から出発

真っ直ぐな北海道の道を進むバス



バスの後部座席でお兄さん・お姉さんと楽しむ子供達

さあ、余市のさくらんぼ山に着き、プラム狩りです



甘いプラムを求めて、お姉さん達は脚立に乗り奮闘デス



さくらんぼ山で一枚目の集合写真

さくらんぼ山で二枚目の集合写真



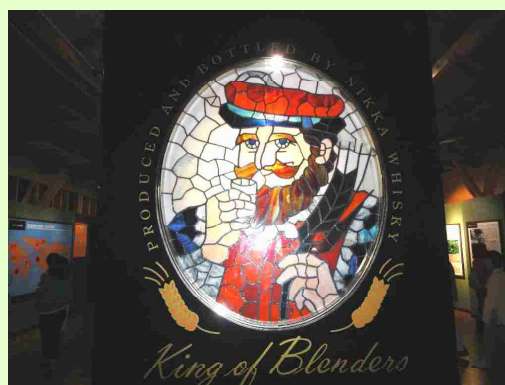
プラムは甘酸っぱく美味しかった 少し、時期は過ぎていたけど、サクランボもとれたよ
みんな、いくつ食べたかな？

◆8月10日昼 昼食はさくらんぼ山でジンギスカンを食べました



昼食は北海道名物ジンギスカンです、小さい子供はお姉さんに焼いて貰いながら

◆8月10日昼過ぎ 余市のウイスキー工場へ



朝ドラ マッサンで有名になった ニッカウイスキー工場を見学





無料試飲でご満悦のテニスの鈴木コーチ



工場の前庭で集合写真

◆8月10日夕方 長万部の西念寺に帰着して夕食の手打ちそばをいただく



帰って来ると、長万部町のお母さん達が朝から うってくれた手打ちそばをいただく



◆8月10日夕方 長万部町の夏祭りに参加



夕食の後、西念寺の境内で 子供達は理科大のハッピーを着て夜御輿の準備



ハッピーを着て勢揃いの子供達



左上に理科大のちょうちんも有るよ



御輿の準備オーケー



沿道で子供達の御輿を待つスタッフと親達



長万部町会で気仙沼の子供達用の軽い御輿を準備してくれました

その御輿を副理事長のかけ声に応じてワッショイ・ワッショイと大声で叫んで一生懸命子供達はゴールの長万部駅まで担ぎきりました

これで、二日目の予定が終わり、みんなその晩はぐっすり眠れました
しかし、副理事長は翌日、ノドが干からせて声が出なくなりました
でも、子供達がこちらのかけ声に大声で・元気に応えてくれたのは本当に嬉しかったです